

# 事務事業評価シート(平成19年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名									
02502	ほたるチャンネル運営事業	まちづくり政策課	情報有線係	小澤辰一	赤羽 昇									
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 23 日	連絡先[内線]	2621									
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分				事業コード	事業名(歳出予算見積書)							
		<input checked="" type="checkbox"/>	一般	<input checked="" type="checkbox"/>	特別	6102	維持管理事務							
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別		#N/A								
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)				6章	活気に満ちたまちづくり						
		節	(コード選択)				1節	まちづくりへの町民参加を進める						
		項[基本施策]	(コード選択)				612	情報の充実と公開						
主な取り組み		(コード選択)				6122	有線放送・ほたるチャンネル・ホームページによる情報発信							
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱				<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画		<input type="checkbox"/>	主要業務報告		<input type="checkbox"/>	その他	
事務期間	(開始)	9 年度	~	(終了予定)		年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし				

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

ほたるチャンネル視聴者(辰野町内)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町の行政情報・地域情報などを発信することにより、町の取り組みや地域の行事内容を知っていただく。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 辰野町の新しい行政情報・地域情報を一週間を通して、「ほたるプラザ」「ほたるTHE-WEEK」で紹介する番組の制作・放映
- JA上伊那「るゝらる」を放映して農業情報を伝える。
- 上伊那地区(伊那市、南箕輪村、箕輪町)の1週間の情報番組(伊那ケーブルTV制作)の放映
- 町内企業の紹介番組「まちの活力見聞録」の取材、番組制作、放映

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)
① 指標名	LCV加入世帯数	90	90	90	90	90	90
① 説明	ほたるチャンネル番組放送視聴可能世帯率	目標値設定の根拠 LCV精調へによる。					
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)
① 指標名	ほたるチャンネル番組製作件数	210	225	220	220	220	220
① 説明	情報を提供するための番組製作年間件数	過去5年間の平均数					
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

## (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法	決算書・予算書等に記載の数字				按分計算による算定															
	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み												
○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	27,753	23,152	24,317	24,317															
対前年比	%		83.4	105	100															
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		19,058	14,450	15,784	15,784															
B) 一般財源(税金)		8,695	8,702	8,533	8,533															
①事業費	(千円)	5,572	5,651	6,000	6,000															
対前年比	%		101.4	106.2	100															
②人件費の概算	(千円)	22,181	17,501	18,317	18,317															
対前年比	%		78.9	104.7	100															
	課長	課長補佐		係長			一般職員			延べ人数				年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H18	H19	H20	H21				
町職員(正規職員)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.12	1.12	1.12	1.00	1.00	1.00	3.12	2.12	2.12	2.12	22,181	16,082	15,840	15,840
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート												0	1,419	2,477	2,477				

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない ホームページ運営事業、広報たつの発行事業、有線放送運営事業
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり 放映にCM広告を入れ、経費削減を図る。
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 平成18年度にアンケートを実施した。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

- ①文字放送システム導入を行い、職員が誰でも迅速に記事を流すことができるようになった。(ホームページとの連携あり。)  
 ②平成19年度に番組再編を行いました。辰野町だけでなく辰野を取り巻く地域の情報番組として、上伊那ニュース(ICTニュース)、まちの活力見聞録の放映日の創設等

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

- ①機械の老朽化に伴う機器更新を平成20年度から3年計画で行う。  
 ②CM広告の新規勧誘を行う。  
 ③地上デジタル放送化への取り組みを行う。

20年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

放送機器の更新、中継システムの構築

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

文字放送システム導入に伴う各課のの活用、充実したホテルチャンネルの住民の視聴が望まれる。老朽化した施設を22年までに更新すること、経費の削減を図ることが今後の課題である。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大  D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持  イ. 見直しのうえで継続する  ウ. 終期設定  エ. 廃止  オ. 休止



b 上記 a~e を選択